





審査結果報告書

平成27年 / 月 13日

主査 氏名 小泉和郎 

副査 氏名 隈部俊宏 

副査 氏名 岩村正嗣 

副査 氏名 馬嶋正隆 

1. 申請者氏名 : 細田 桂

2. 論文テーマ : Preoperative clinical tumor size is a critical prognostic factor in patients with Borrmann type III gastric cancer (ボールマン3型胃癌患者において、術前に計測された腫瘍径は、重要な予後因子である)

3. 論文審査結果 :

胃癌原発巣の腫瘍サイズが胃癌患者における予後因子であることは、以前から報告されている。本研究は術前に測定された腫瘍径が3型進行胃癌の患者において独立した予後因子になり得るかどうかを明確にすることを目的としている。申請者は、まず過去に北里大学で切除術を受けた3型進行胃癌患者350人を対象として予後因子解析を行い、全生存期間(OS)に対する独立した予後因子を求めた。また、腫瘍径の閾値を決定するために、OSに対するログランクプロット解析を行った。本研究では2つのことが明らかになった。1つは、CYは3型胃癌患者の最も強い独立した予後因子であったこと、もう1つは、CY0の3型胃癌患者の独立した予後因子に、術前に計測された腫瘍径が含まれていたことである。申請者は、術前に計測された腫瘍径がCY0である3型胃癌患者における独立した予後因子であり、術前補助化学療法を受けるべきかどうかを決定するための重要な情報になり得ると結論している。本研究は、将来の臨床にも極めて有用な情報であり、主査および副査の審査の結果、医学博士の学位を与えるのにふさわしいものと結論した。